

シグマ研究委員会 核データ専門部会
重核データ・サブワーキング・グループ第2回会合議事録

日 時 昭和52年11月17日(木) 13:30~18:00 (データ収集作業)
" 18日(金) 9:30~17:00 (" ・午前中)

場 所 原研 核データ・センター

出席者 五十嵐, 浅見(哲), 菊池(原研), 村田, 川合(NAIG),
松延(住原工)

議 事 (18日 13:30~17:00)

1. データの現状説明

i) ^{235}U の σ_f の最近のデータの傾向に就て松延より説明:

目立った特徴として, 1 MeV 以下のデータの殆どは JENDL-1 よりも低い値を示している。

ii) 他核種のデータ

^{239}Pu , ^{240}Pu , ^{241}Pu のデータ (σ_f および断面積比) の現状に就て各担当委員より説明: ^{238}U , ^{239}U に就ては単独のデータ, および ^{235}U との断面積比のデータは豊富である。

^{240}Pu に関しては $^{240}\sigma_f$ の絶対測定は殆ど無く, ratio data だけである。

^{241}Pu に関しては $^{241}\sigma_f$ の絶対測定は Szabo のデータ位しかない。

2. 重核データの consistency check に関する討議ならびに作業手順

i) $^{235}\sigma_f$ の測定値の変動巾の check...松延が調べ, 各委員に資料送付

ii) i) に基づいて各核種の ratio data の最適値の決定

iii) ii) に基づいて $^{235}\sigma_f$ を決定

iv) iii) に基づいて各核種の σ_f を決定

v) 他の quantity の評価

a) σ_t , σ_{el} , σ_{in} , $\sigma_n\gamma$...計算により求める (unified parameters 使用)

b) σ_{2n} , σ_{3n} ...計算式に就て検討の要あり

c) ν_p , ν_d ...データ収集と比較・検討

次回予定：昭和53年1月24日（火） 13：30～ 東京にて開催